



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月6日
東

上場会社名 株式会社 東邦銀行 上場取引所
コード番号 8346 URL <https://www.tohobank.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 佐藤 稔
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 金成 倫 (TEL) 024-523-3131
四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 —
特定取引勘定設置の有無 無
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	43,978	△2.7	8,149	28.2	5,531	34.5
2023年3月期第3四半期	45,180	0.8	6,354	△24.1	4,111	△28.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 9,916百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △6,376百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	21.93	—
2023年3月期第3四半期	16.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,636,210	199,210	3.0
2023年3月期	6,613,120	191,012	2.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 199,210百万円 2023年3月期 191,012百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
2024年3月期	—	3.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,400	1.2	8,000	19.4	5,300	18.0	21.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当行は、2023年6月26日開催の取締役会における決議に基づき自己株式の処分を実施しております。
連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	252,500,000株	2023年3月期	252,500,000株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	236,115株	2023年3月期	443,640株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	252,177,176株	2023年3月期3Q	252,056,489株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。